

(様式1-2)

道徳教育地域支援委託事業実施計画書（平成30年度）

1 学校の概要

- (1) 学校名 土庄町立土庄小学校
(2) 所在地 香川県小豆郡土庄町湊崎甲2080番地1
(3) 学年別児童生徒数及び学級数、教員数 (平成30年4月1日現在)

第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	特別支援学級	児童生徒数計	教員
3学級 81名	3学級 82名	3学級 88名	3学級 75名	3学級 95名	3学級 83名	5学級 20名	524名	36名

2 研究主題等

- (1) 研究主題 自他の感じ方・考え方を受けとめ合い、自分を見つめ直す子どもの育成
—主体的によりよく生きようとする心を育む道徳教育—

(2) 研究主題設定の理由

社会の中で生きる人間としての基本的なきまりや善悪の判断などの規範意識は、道徳教育、教科指導、特別活動、生徒指導、人権教育など、学校教育におけるすべての教育活動や実生活における活動の中で育まれるものである。本校では、平成29年度に各教科、特別活動、その他の教育活動の関連をもたせた全校的取組を進めてきた。また、道徳の時間において、自分の考えを表出できる表現・交流活動や実生活とつなぐ授業の展開を工夫してきた結果、自分のよさや課題を具体的に見つめ、よりよい生き方についての考えを深める児童が増えてきた。しかし、全体的に自己有用感が低い傾向にあり、自主的に活動することや他者の存在を意識したり、他者の立場に立って考えたりすることを苦手とする児童が多いことも課題として浮き彫りになった。そこで、平成30年度は、本校児童のこれらの課題に視点をあて、児童の実態をふまえてねらいとする道徳的価値を具体的に設定し、指導方法や授業展開の工夫によって道徳の授業のさらなる充実をはかりたい。また、教職員の協働体制のもとに全教育活動と関連をもたせた取組にも力を入れて進めていくことで、自分を見つめ直し、自信をもってよりよく生きていこうとする児童の育成をめざす。

(3) 研究内容及び方法

- ① 道徳の時間の充実
ア 各教科、特別活動、その他の教育活動と関連をもたせた道徳授業の単元化
イ 自分の考えを表出できる表現・交流活動
ウ 実生活とつなぐ授業の展開
- ② 全教育活動を通して育む豊かな心
ア 学級活動の充実
イ 行事を通して高める道徳性
ウ 児童会活動の充実（委員会、たてわり班活動など）

3 成果の評価方法（検証方法）

- ① 道徳ノートの記事により検証
② アセスメントによる分析で検証
③ 意図的、計画的なSSTや「よいところ見つけ」の記録により検証

4 研究成果の普及方法

- ① 香川の教育づくり発表会で研究成果を発表する。
② 研究成果をホームページに掲載し、公開する。
③ 研究成果を香川県教育センターに提供し、県下の各学校に普及してもらう。